



資料提供 (県政)



提供年月日：令和7年(2025年)11月28日

調査手法等に関すること
部局名：知事公室
所属名：広報課
係名：県民の声係
担当者名：藤澤、田中
連絡先(内線)：077-528-3045 (3045)

調査結果に関すること
部局名：総合企画部
所属名：高等教育振興課
室名：高専設置準備室
担当者名：藤ノ井、宮内
連絡先(内線)：077-528-4583 (4583)

調査結果の活用に関すること
部局名：公立大学法人滋賀県立大学
高専開設準備局
所属名：学務課
係名：広報・共創係
担当者名：堀、田口
連絡先：0749-47-3010

令和7年度第4回 「しがwebアンケートプラス調査」 (県外向け調査) の結果について

1 調査の目的

滋賀県以外にお住まいの方を対象として、滋賀県に対するイメージ・意識・認知度等をインターネットを活用して適時迅速に調査し、速やかに県の施策に活用するための基礎資料とする。

2 調査の概要

- (1) 調査対象 県外(福井県、岐阜県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)在住の満18歳以上の個人
- (2) 標本数 1,000人
- (3) 調査方法 インターネットを利用し、パソコン、スマホ等により回答するweb調査
- (4) 調査期間 令和7年9月26日(金)～9月27日(土)
- (5) 調査会社 株式会社ブランド総合研究所

3 調査項目

滋賀県立高等専門学校設置について

4 主な調査結果 ※詳細は別添集計表（エクセル表）を参照ください。

Q1：回答者の居住地は、大阪府（36.1%）、兵庫県（23.6%）、京都府（12.5%）の順に多かった。

Q2：回答者の職業は会社員（会社役員を含む）が1番多くおよそ3割（32.7%）。

Q3：回答者の職種は「働いていない」が1番多くおよそ4割（42.7%）。

Q4：高専を「知っている」「名前だけ知っている」を合わせると8割を超えていた（84.1%）。

Q5：高専を知ったきっかけとして、「家族や友人に高専の卒業生や在学生がいるため」が最も多く、

次点に「テレビから」が続いており、約6割（60.4%）を占めている。

Q6：中学校卒業時の進路選択の際に高専を提案されたことがある人は、7.5%だった。

Q7：中学校の教員から高専を進路として提案された人が半数を超えていた（50.7%）。

Q8：滋賀県に高専が開設されることを知っている人は、約5%だった。

Q9：滋賀県に高専が設置されることを知ったきっかけとして、「家族や友人から（30.2%）」、「職場の人から（30.2%）」に並んで「ネットニュースから（30.2%）」情報を得ている人がいる。

Q10：滋賀県に開設される高専に「通学可能である」と答えた人はおよそ1割だった（10.6%）。

Q11：中学校卒業時の進路選択において、重視すべきこととして、「将来」「進路」「大学進学」「学力」といった言葉が特徴的だった。